

2月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.093 令和元年(2019年)5月1日発行

目次

・特集 無人島×仕掛人	P2
・2月定例会の概要	P4
・平成31年度当初予算	P5
・代表質問	P6
・一般質問	P8
・委員会審査の概要	P12
・採決状況	P14
・永年在職議員表彰など	P16

加太 友ヶ島

歴史

と自然の融合

【撮影場所】友ヶ島・第3砲台跡【コスプレイヤー】山本太陽さん(写真左)と白鳥ぞらさん(写真右)

サブカルチャーの力

友ヶ島は、無人島という魅力に加えて、全国的にも珍しい砲台跡がある観光スポットです。また、砲台跡が魅せてくれる幻想的な世界は、観光客やコスプレイヤーの撮影スポットにもなっています。

平成24年11月、山本太陽さんが友ヶ島で開催したコスプレイベントがきっかけで、友ヶ島は、アニメ「天空の城ラピュタ」によく似ているとインターネット上で話題になり、ニースで取り上げられたこともあって全国的に有名になりました。平成14年度以降、年間2万人を割っていた入

特集vol.7

無人島×仕掛人

島者数は、コスプレイベントの翌年度には約1万人増加し、3万1634人に、また、地元住民の努力もあって、入島者数は年々増え続け、平成29年度には8万6329人まで増加しています。

コスプレイヤーは、和歌山市内に約700人、日本全国に約27万人いると言われていています。友ヶ島でのこのイベントがきっかけで、大きな効果を生み出したサブカルチャーの力は、計り知れない可能性を秘めています。友ヶ島や深山の砲台跡をはじめ、魅力あるまち・加太が国内外から注目を浴びるのもそう遠くはないかもしれません。

山本太陽さん

岸和田市出身、和歌山市育ち。サブカルチャーイベント企画団体マジックアワーカフェ代表。男装歴、コスプレ歴ともに10年以上。現在はイベント出演、舞台、モデル活動など幅広く活躍中。

歴史探訪! 感動と癒しの世界

明治時代、経済の中心である大阪に侵攻する軍艦を迎え撃つため、紀淡海峡周辺に砲台が数多く築かれ、由良要塞(右図参照)と称されました。第二次世界大戦後、要塞はその役割を終え、友ヶ島と深山は瀬戸内海国立公園となっています。

友ヶ島は、レンガ造りの砲台跡や弾薬庫などの残存状態が良く、歴史と自然を感じることができます。また、近年は「アニメの聖地」として親しまれています。

深山は内陸側の沿岸部に位置し、風情があるレンガ通りの先に第1砲台跡があります。展望広場からは紀淡海峡の絶景が広がり、友ヶ島と淡路島を一望できます。

和歌山市内の由良要塞





砲台跡。赤いレンガと生い茂る植物が写真映えし、まるで映画のワンシーンのような雰囲気を出しています。そのほとんどが撮影スポットです。とっておきの一枚をカメラに収めてください。



フェリーに乗って友ヶ島へ、自動車に乗って深山へ。どちらもここでは紹介しきれない魅力的なスポットがたくさんあります。現地を訪れ、あなたのおすすめスポットを見つけてください。

ロケーションの宝庫

友ヶ島の観光客が増加した理由の一つとして、インターネットの力があります。コスプレイベント参加者の多くがインターネット上に写真や動画を投稿しました。そこからは、観光パンフレットでは伝えきれない個性豊かな魅力が伝わってきます。そして、その投稿は多くの方の目に留まり、新たな誘客につながっています。

スマートフォンが普及した今では、多くの方がコミュニケーションツールとしてSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）を利用し、写真や動画を投稿しています。若者の中で「インスタ映え」が流行しているよ

和歌山市の北西に位置する無人島、友ヶ島。そこにはかつての砲台跡が存在し、その独特な世界観が人気を集めています。今回は、加太周辺の砲台跡を取り上げて紹介するとともに、友ヶ島を「アニメの聖地」として広めた仕掛人、山本太陽さんにお話を伺いました。

うに、友ヶ島もSNSを通じて魅力が拡散し、好循環が生まれています。和歌山市には、加太・友ヶ島のほか、海や山などの自然、マリナーシテイ、和歌の浦、和歌山城など、魅力的なスポットがたくさんあります。山本太陽さんは、「和歌山市はロケーションの宝庫。ポテンシャルは高い。」と言います。そして、まさに今、新たなイベントを仕掛けようとしています。まちを活性化させる二つの手段として、若者の力と情報発信力は欠かせません。そして、そこには絶妙なタイミングが求められます。若い芽を育てることができるか、時代の流れに沿った確な判断ができるか、大きな鍵を握っています。

編集後記

8時間にも及んだ取材と撮影。今回の取材では思いつかないような豊かな発想力と、和歌山市への熱い思いを肌で感じることができた。若者を含む民間活力の導入、そして、住民一人一人が魅力発信人となるような仕組みこそ、これからの観光振興には不可欠だと痛感した。

取材を終え、我々に新たな出会いとヒントを与えてくれた議会広報の取組は、改めて有意義なものであると強く感じた。



特集担当: 中村元彦、浜田真輔、奥山昭博

お出かけ前にチェック!!

■加太観光協会

和歌山市加太1067 ☎073-459-0003
<http://www.kada.jp/>

■友ヶ島汽船株式会社

和歌山市加太(向丁地先) ☎073-459-1333
<http://tomogashimakisen.com/>

■一般社団法人和歌山市観光協会

和歌山市一番丁3 ☎073-433-8118
<http://www.wakayamakanko.com/>

2月定例会の概要

開会

2月19日

- ・会期の決定(2月19日～3月20日)
- ・議案説明(報告関係2件、議案38件(補正予算案18件、条例案7件、繰越明許費に関する補正予算案5件、その他8件))

2月20日

- ・議案に対する質疑(中村(朝)議員)
- ・議案の委員会付託

2月21日～22日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について、審査、討論及び採決

2月26日

- ・各常任委員会の委員長報告(議案38件の審査結果について報告)
- ・反対討論(松坂議員)、採決
- ・議案説明(議案74件(当初予算案18件、条例案54件、その他2件))

代表質問

2月28日

- 各会派の代表者による代表質問
- ・吉本昌純議員、中尾友紀議員、姫田高宏議員、山本忠相議員、林 隆一議員(P6～P7に概要掲載)

一般質問等

3月1日

- ・山野麻衣子議員、松坂美知子議員、森下佐知子議員

3月4日

- ・藪 浩昭議員、浜田真輔議員、中村朝人議員

3月5日

- ・追加議案の説明(補正予算案2件)
- ・浦平美博議員、南畑幸代議員、山本宏一議員

3月6日

- ・野嶋広子議員
(P8～P11に概要掲載)
- ・議案に対する質疑(姫田議員)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

3月7日～14日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

3月15日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決並びに請願の審査(P12～P13に概要掲載)

特別委員会

3月18日

- ・地震等災害対策特別委員会

閉会

3月20日

- ・各常任委員会の委員長報告(議案76件、請願1件の審査結果について報告)
- ・反対討論(森下議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・議員発議(附帯決議案1件、意見書案1件)、採決
- ・永年在職議員表彰

平成30年度予算(2月補正後)

一般会計	1,634億2,127万3千円 (補正額57億8,195万5千円)
特別会計及び公営企業会計	1,409億3,128万8千円 (補正額△16億8,874万4千円)
合計	3,043億5,256万1千円

補正予算の概要

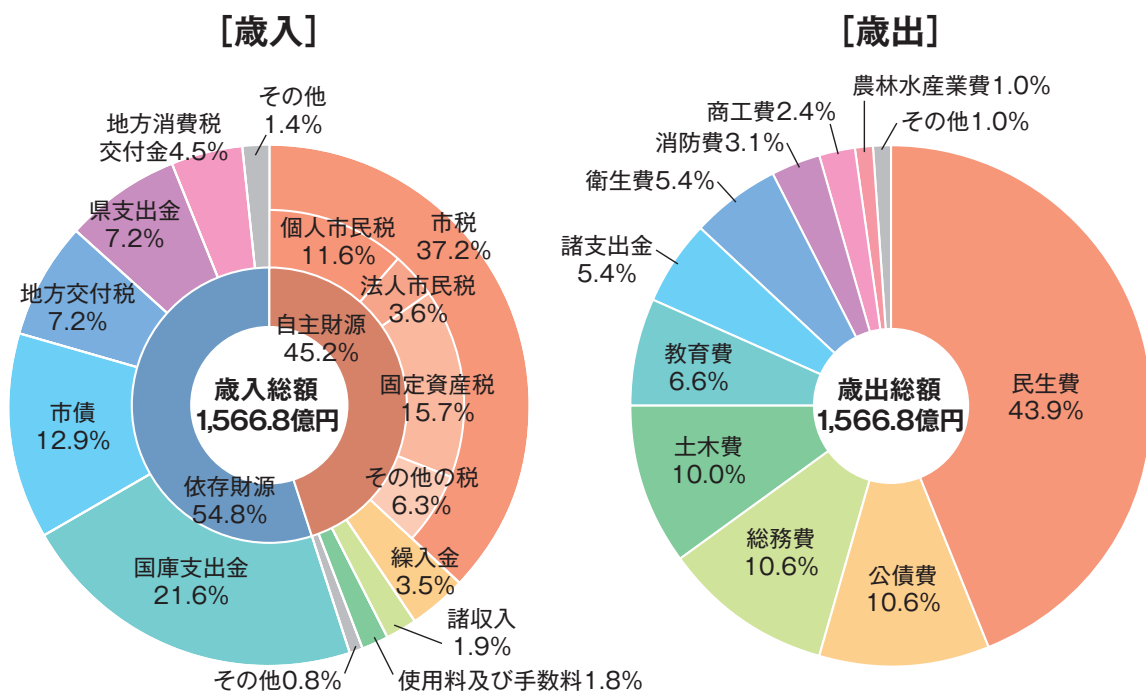
一般会計では、国補正を活用した前代川の河川改修事業、プレミアム付商品券発行の準備経費、小学校及び中学校のトイレ改修に要する諸経費など、また、障害者総合支援費の増額、生活保護の扶助費などの精算による国庫支出金返還金、漁港施設の災害復旧費などが計上されました。

特別会計(公営企業会計を含む)では、各会計で事業費の決定や精算等による予算が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

平成31年度当初予算

一般会計



特別会計

977億円

公営企業会計

411.5億円

予算合計

2,955.3億円

未来の発展につなげる予算



1 子供たちがいきいきと育つまち

1 未来へつなぐ子育て支援

- ・子供に寄り添う体制の充実
- ・保育環境の充実

2 未来をつかむ力を育む教育

- ・子供の成長を支える環境づくり
- ・「知・徳・体」を育む



など

2 誰もが暮らしやすいまち

1 生涯にわたる健康福祉の充実

- ・健康長寿社会の実現
- ・生涯安心して暮らせる地域づくり

2 市民の命と暮らしを守る

- ・便利で持続可能な公共交通の実現
- ・道路網の整備と長寿命化の推進



など

3 働ける・働きたいまち

1 地域産業の活性化

- ・産業の振興
- ・産業を支える人材の確保

2 さらなる観光誘客の促進

- ・イメージ戦略による観光振興
- ・誘客と消費拡大による観光振興



など

4 魅力あふれるまち

1 生まれ変わるまちなか

- ・学生が行き交うまちづくり
- ・本市の玄関口
南海和歌山市駅の完成

2 地域が持つ魅力の向上

- ・地域の活動拠点づくり
- ・地域活動の促進



など

代表質問

各会派の代表者による質問内容の一部を抜粋して掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

至政クラブ



よしもと まさすみ
吉本 昌純

2025年大阪・関西万博

問 2025年大阪・関西万博の開催は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに続く国際的な大規模イベントとして、その経済波及効果は、関西のみならず、全国で約2兆円とも言われている。新たな産業や観光のイノベーションが期待でき、本市の産業振興に寄与するとともに、本市が世界に誇れる歴史・文化遺産や風光明媚な景観な

ど、魅力ある観光資源を世界中の人々に知っていただく絶好の機会と考えるが、観光客の誘客にどのように取り組むのか。

また、「いのち輝く未来社会のデザイン」を万博のテーマとし、AIやIoTなどの革新的な技術を生かした医療や介護等の取組が進められるなど、人々の健康や暮らしの向上に大きく寄与することが期待されるが、本市の未来に向け、飛躍・発展するためにどのように取り組んでいくのか。



雑賀崎漁港

答 万博の開催は、国内外に本市をアピールすることのできる絶好のチャンスと捉え、世界に誇れる観光地である和歌山城、和歌の浦、加太を中心に自然・歴史・

文化・食など魅力ある観光資源を最大限活用し、それらを組み合わせた回遊性を促す観光ルートの造成により、本市での滞在が良き思い出となり、再び訪れていただけるような観光施策を進めていく。また、訪日外国人の方々に、今後も安心・安全に本市を旅し、楽しんでいただくためにも、キャッシュレス決済や多言語案内等への取組を進めていく。

近年、「観る」だけの観光から「参加」「体験」「交流」に加え、「健康」「学習」など、多様化した観光客のニーズに応じ、地域資源を活用することで観光客の誘客に取り組んでいく。

また、AIやIoT、ロボットといった技術革新の進展は目覚ましく、こうした最新技術を活用することで、生産性向上による産業の活性化や充実した医療・介護等の更なる高度化を進めるなど、人口減少や少子高齢化等の状況においても、持続可能で市民の誰もが健康に安心して生活できる環境づくりに向けて積極的に取り組んでいく。



和歌山城と御橋廊下

水道行政

問 昨年12月に水道法が改正された。その一つに、地方公共団体が水道事業者等として位置づけを維持しつつ、水道施設に関する運営権を民間事業者に設定できるコンセッション方式の導入がある。これは、民間のノウハウ導入による効果的かつ効率的な運営ができるなどのメリットがある反面、水道料金の値上げ、市民サービスの低下などが懸念される。給水人口の減少などにより、料金収入が減少する中、本市では、平成10年度から値上げをせずに運営に努めてきた。今後とも運営権を民間に渡すのではなく、経営健全化を行い、直

営で行っていくべきと考えらるがどうか。

答 国では、コンセッション方式を含むPFI手法の推進を図っているため、企業局では、上水道、下水道、工業用水道における現状把握と課題の抽出、業務改善の検討及び官民連携手法導入の可能性、効率的な事業運営の施策の検討に関する調査を実施している。

一方、水道法には、「国及び地方公共団体は、水道が国民の日常生活に直結し、その健康を守るために欠くことのできないもの」と明記されており、安心・安全で安定した水の供給は市の責務と考える。今後も、市が主体性をもって水道事業に取り組んでいく。



加納浄水場

公明党議員団



なかお ともき
中尾 友紀

児童虐待

問 本市の児童虐待相談件数が年々増加する中、未来の宝である子供の命を守るためにどうするのか。また、今が児童相談所を設置するときに考えるがどうか。

答 本市としては、強制的な権限を行使する「介入型」の支援は県の児童相談所が担い、市は、保健所や教育委員会、福祉事務所などが連携し、保護者に寄り添って養育の改善等を促す「寄り添い型」の支援を行うことが、児童虐待防止対策を進める上で重要だと考える。

これを踏まえ、今すぐに児童相談所を設置するのではなく、子ども家庭総合支援拠点を設置し、機能の充実と人員の強化を行い、児童虐待の未然防止・早期対応に努め、子供の命を守る体制整備に取り組んでいく。

観光振興

問 本年8月16日、本市で初めてとなる大型クルーズ船が寄港する。旅客を滞在させるには、本市のゴールデンルートを作るなどの取組が必要と考えるがどうか。

答 本市には、紀州徳川家が入城して400年となる和歌山城や、葛城修験道時代から脈々とつなぐ歴史がある加太など、本市にしかない文化・芸術がある。

大型クルーズ船が寄港する絶好の機会を逃すことなく、本市でしか体験できない魅力ある市内周遊コースを作ることで、観光消費につなげ、より多くの旅行者が本市に滞在してもらえよう取り組んでいく。



魅力的な夕日

誠和クラブ



やまもと ただすけ
山本 忠相

手話言語条例

問 手話言語条例の施行から3年が経過するが、これまで何を進め、今後1年どのように広がりを作るのか。

答 手話啓発用のパンフレット等の作成、配布のほか、「和歌山市手話動画」を作成し、YouTube上に掲載している。今後は、来庁者を対象に「手話ロビー講座」を毎月開催するなど、手話に携わりやすい環境整備に取り組んでいく。

本市の将来像

問 市民会館の移転、中央卸売市場の再整備等の事業に係る事務に無理は生じていないか。また、予算についての展望はどうか。

答 適切な事務の遂行とともに、効率的、効果的な行財政運営により財政健全化に努めていく。

日本共産党議員団



ひめだ たかひろ
姫田 高宏

障害者65歳問題

問 障害福祉サービスを利用して障害者が65歳になると、障害福祉サービスが打ち切られ、介護保険の利用を強要されるということが、障害の程度によっては、意思疎通ができない場合はどうなるのか。

答 法により65歳以上の方は、介護保険サービスを利用することになっている。介護保険にはないサービスを利用する方、また、障害の状態から介護保険制度の範囲では日常生活が困難な方にはそれぞれの状態を判断し、個別に障害福祉サービスの継続や上乗せの支給を行うことができる。

中学校の全員給食実施を

問 「子育て環境日本一」を目指すとして宣言しながら、県下で中学校の全員給食を

実施していないのは本市だけとなりそうだが、それではないと市長は思っているのか。

答 県下他市町村の状況にかかわらず、本市では生徒や保護者がどのような給食を望んでいるか、検討していく必要があると考える。

日本維新の会

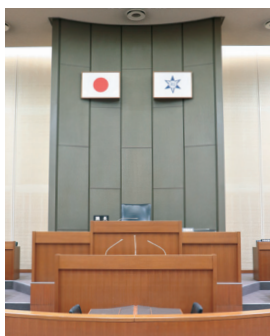


はやし りゅういち
林 隆一

県市連携

問 和歌山県市における行政間での連携はどうか。

答 県市連携の重要性は十分認識している。今後本市の発展に向け、福祉、防災、産業、まちづくりなど様々な分野で県と連携を密にし、取組を進めていく。



ピックアップ

PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

至政クラブ



はまだ しんすけ
浜田 真輔

外国人労働者の受け入れ

問 昨年、深刻な人手不足に対応するため、今後5年間で約34万5千人の外国人労働者の受け入れを拡大する出入国管理法が改正された。外国人労働者の受け入れは、人手不足の解消、事業継続の戦力になるとも

に、生活者となって共に住み暮らすことにもなるが、市の方向性はどうか。

答 企業のニーズ把握を行い、関係機関と連携し、外国人労働者受け入れに関する制度の周知を図るとともに、外国人留学生についても高等教育機関とマッチングを図るなど外国人材の活用に取り組む。また、増加する外国人が働き、暮らしやすい環境づくりにも併せて取り組んでいく。

暮らしやすいまちづくり

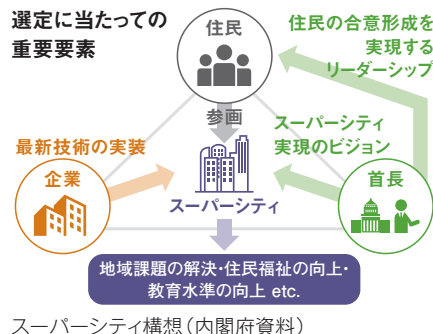
問 国では近未来社会に向け、「スーパースィティ」構想や「スマートシティ」の実現に向けた具体的な政策を立ち上げようとしている。

例えば「スーパースィティ」構想の未来像には、移動、医療・介護、教育、環境ごみ、防災、防犯・安全など10領域があるが、この中で必要な優先順位があつてしかなるべきであり、本市に適する近未来社会を描き、「和歌山市モデル」をつくるべきだと考えるがどうか。また、この領域で取り組もうとしていることは何か。

答 先端技術をまちづくりに先導的に取り入れる際には、都市機能と自然をバランスよく併せ持つ本市の特性を生かし、高齢化などによる課題の解決につながるものにしたと考えている。

まず、豊かな自然の保全・充実に向けて「エネルギー」「環境」の領域、温暖な気候や充実した医療環境を生かせる「医療・介護」の領域に取り組み、高齢化や交通弱者への対応として、自動走行のパーソナルモビリティといった「移動」の領域にも先端技術を生かしていければと考えている。

今後は民間企業等と連携し、和歌山市らしいソサエティー5.0の実現に向けたまちづくりを進めていきたい。



うらひら よしひろ
浦平 美博

教育行政

問 私たちが真に学ぶべき心が近現代史にあり、これらは日本人の心に直結する。過去から人間を学び、教えるために教師は存在せねばならず、それゆえ、中学校歴史教科書採択を唱え続けているが、前回の教科書採択では、市民アンケートで一番良いとされた歴史教科書が一切議論されなかった。

今後、中学校歴史教科書の中に、和歌山県和歌山市から発せられる、世をあとと言わせる記述や功績などが記述されている教科書が出てきたならば、その教科書を最重点におき、しっかりと議論して採択に臨むか。

答 生徒が郷土をより深く愛し、歴史に対する興味を高めることが期待できるため、採択にあたり大切な観点の一つだと考える。教科書の採択権者である教育委員会として、市の生

徒の実態に鑑み、様々な角度から教科書会社ごとの特色と工夫について調査・審議を重ね、責任を持って採択にあたる。



市長の政治姿勢

問 教科書採択の際、市民のアンケートは無視できないものであるにもかかわらず、前回の採択では全く議論されず、不公正な採択が行われた。論外とはこのことであり、教育委員会は一体何を根拠に議論しているのか理解に苦しむ。採択権者である教育委員5名を任命しているのは市長だが、市が目指す子供の姿を実現するため、教科書採択を正かつ適正に行う姿勢を買っていない教育委員会があ

るならば、それをどう評価し、改善させるか。

答 教育委員会は、教科書の採択権者として、教育基本法及び学習指導要領を踏まえ、責任を持って採択せねばならない。教科書採択が公正かつ適正に行われていないと判断した場合には、改善に向け必要な手だてを講ずる。



やまもと こういち
山本 宏一

動物愛護

問 殺処分ゼロを目指す新しい動物愛護センターが今秋オープンするが、いまだ多数の動物虐待が市に報告されている状況にある。動物の虐待がエスカレートし、子供たちに被害が及ばないかと危惧する。また、きしゅう君の防犯メールによる不審者情報は、一昨年の約6倍の情報が寄せられ、各学校にはその何倍もの情報が寄せられていると聞く。動物だけではなく、子供たちの安全にもつながる

「動物虐待ホットライン」を設置してはどうか。

答 兵庫県警察が2014年に全国初の「アニマルポリス・ホットライン」を設置し、大阪府が2019年8月から「動物虐待ホットライン」を設置すると聞いている。これらの運用状況及び国や他都市の動向並びに和歌山県警察の見解等を踏まえ、設置に向けて調査検討していく。



公園で見つけた猫

まちづくり

問 本市の目指すコンパクトシティを進めるためには、立地適正化計画や都市計画マスタープラン等と、整合性を図りながら事業に取り組む必要があるが、進めようとしているまちづくり

と実情が乖離することがある。施策の整合性を担保する一つとして、概ね5年ごとに用途地域を見直すべきと思うがどうか。

答 用途地域は、単なる局地的・相隣的な土地利用の観点にとどまらず、都市全体にわたる都市機能の配置及び密度構成の観点から検討するとともに、随時かつ適時に見直すこととされている。前回の見直し以降の社会经济状況の変化を踏まえた上で、市街地の土地利用を総合的かつ一体的観念に立って適正配分するために、用途地域を見直していくことが必要と考える。その前提として、都市計画基礎調査を実施するよう関係部局と協議していく。



のじま ひろこ
野嶋 広子

児童虐待

問 過去、本市でも児童虐待に関する痛ましい事件が起き、全国的にも、現在、死亡につながった事件報道

に注目が集まっている。子供を傷つけたあげく命まで奪う、これら児童虐待は断じて許すことのできない行為である。本市では児童虐待をなくすため、今後、どのように取り組むのか。

答 昨今の事件報道により、市民の児童虐待に対する意識は高まってきている。児童虐待が疑われる場面に遭遇した場合、速やかに子ども総合支援センター、児童相談所、児童相談所全国共通ダイヤル189（いちほやく）に通報し、行政や関係機関に情報提供しなければならぬことを周知することが大切であると考える。

本市では、こども総合支援センターに子ども家庭総合支援拠点を設置し、機能の充実、専門職員の増員による体制強化を図っていく。

道路整備

問 本市西脇地区における地域間連絡と既存生活道路の渋滞解消及び西脇小学校への通学環境改善のため、坂田磯の浦線や西脇19号線の早期完成は、周辺住民の生活環境を改善するために

も喫緊の課題となっている。これら道路における現在の進捗状況及び完成へ向けた今後の予定はどうか。

答 坂田磯の浦線は、土地収用法に基づく道路用地の取得を完了し、堤川を渡る橋梁が完成。現在、県道粉河加太線から南海加太線までの約580メートルの道路新設及び跨線橋の橋台工事に着手し、2022年度の完成を目指している。

一方、西脇19号線は、西脇小学校から北側約240メートルの拡幅区間において順次工事を行っており、県道粉河加太線から南側約110メートルの区間は、平成28年度に地元自治会と協議の上、ルートを決定し用地取得を進めている。



坂田磯の浦線の進捗状況

公明党議員団



やぶ ひろあき
荻 浩昭

重度心身障害児者
医療費助成制度

問 身体、知的、精神の3障害が法律上二元化されているが、精神障害者だけが当該助成制度の対象にならないことは、制度の公平・公正、適正な運用の観点からおかしいと考える。制度拡充の対象として、精神障害者保健福祉手帳の1級及び2級所持者を対象としていただきたいが市長の考えはどうか。

答 昨年8月の和歌山県市長会の平成31年度県予算編成等に関する要望において、強く知事に要望し、前向きな回答を得た。その後、担当部局において制度の拡充対象やスケジュール等について、市の意向を県へ伝え協議を重ねてきたが、まだ制度内容や開始時期が確定していない状況である。そう

した中、今年に入ってから県も県の拡充内容が確定していないということ、全面的な実施は困難であるということなどを聞き、県に対し早期の制度実施を強く求めるとともに、更に調整を進めていく。

夜間・休日応急診療センターの混雑対策

問 全国的にインフルエンザが猛威を振るい、流行期には多くの患者が夜間・休日応急診療センターを利用した。混雑により4時間待ちで診察を受けたとの声も聞かれますが、どう対策したのか。



夜間・休日応急診療センター

答 番号案内システムの活用や小児科、内科を2診体制とし、看護師、薬剤師、駐車場警備員等を増員して混

雑緩和に努めている。今シーズンには急激に患者数が増加し、待ち時間が長い日もあったが、来シーズンは、早期に体制整備を構築する。

小・中学校のインフルエンザ予防対策

問 小・中学校における児童生徒のインフルエンザ予防対策はどうか。予防には加湿された環境が効果的だが、学校における加湿器の設置状況はどうなっているか。

答 厚生労働省の通知に基づき、流行前のワクチン接種、咳エチケット、手洗い、適切な湿度(50〜60%)の保持などの指導をしている。加湿器については、学校からの要望に基づき、保健室と院内学級に設置している。

風しん予防対策

問 風しん予防対策の対象者となる39歳から56歳の男性は、平日の昼間に抗体検査や予防接種に行く機会がないと思うが、受診体制をどのようにするのか。

答 事業所健診や特定健診時に検査を受診できるように、

一般質問

全国統一のクーポン券を個別に発送し、受診勧奨する。また、夜間・休日の抗体検査や予防接種の実施など、環境整備を進めていく。

肺炎球菌ワクチン

問 ワクチン接種を促すために、年度初めに対象者に案内はがきを送付した後、年が明けた1月頃、再度未接種者に対し、はがきを送付して接種を促すなど、丁寧な周知を進めていただきたいと考えるがどうか。

答 本市では、個別に予防診票を同封した案内を送付し、接種勧奨をする予定であるが、接種機会を生かせるよう、接種状況等を見ながら再勧奨通知を含め接種率向上に努めていく。



日本維新の会



やまの まいこ
山野 麻衣子

国民健康保険の適正化

問 特定健康診査及び特定保健指導の受診率、保険料の収納率、第三者求償の取組など、評価指標に基づく保険者の実績や取組状況に応じ、国から交付金が配分される。保険者の努力により、国民健康保険の財政基盤が強化され、被保険者の負担軽減につながると考えるが、平成31年度以降、どのように取り組むのか。

答 保険者努力支援制度により国の交付金を確保し、国民健康保険の事業運営の安定化に努めるべきであると考えている。評価指標が低い特定健康診査などの受診率及び保険料収納率向上について、重点的に指標の改善を図っていく。また、第三者行為の届出義務の周知徹底を行い、積極的に求償事務に取り組んでいく。



まつざか みちこ
松坂 美知子

高齢期の生活を支える制度

問 ①「二元気70パス」に高齢者向けのタクシー助成券を加えてはどうか。②地域やボランティア任せにせず、高齢期の生活を支えるために市が果たす役割は。

答 ①調査研究している。②健康で生き生きと暮らすのは誰もが望む姿であるため、(仮称)相談支援包括化推進会議をもって地域づくりを進めていく。



もりした さちこ
森下 佐知子

生産緑地制度

問 農業振興と農地保全の観点から、制限となるような要件は付けず、農業を続けたい、始めたい人への応援策として、生産緑地制度

を進められたい。
答 要件緩和するとともに新たな要件を加えたが、効果については、生産緑地地区の指定状況を注視し、関係部局と連携の上、農地保全に取り組んでいく。



なかむら あさと
中村 朝人

生活困窮者自立支援
子育て支援

生活困窮者の自立支援は、自尊感情などの重視が必要と指摘し、事業の充実を求めた結果、市はその効果を検証すると答弁した。また、卒園後の保育の空白期について、学童保育などの充実を求めた。市が推奨する一時預かりなどは、自己都合に基づく保育の必要性ではないと指摘した。



みなみはた さちよ
南畑 幸代

水道民営化

問 水道の民営化はすべきでないと考えるがどうか。
答 水道法の目的、責務には、「清浄にして豊富低廉な水の供給」「健康を守るために欠くことのできないもの」と明記されており、水道事業の運営には欠かすことのできないものと考え、今後変わることもなく、主体性をもって水道事業に取り組んでいく。

メガソーラー計画

危険性を伴う計画は、許すべきでないと主張した。

声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

市議会をもっと知りたい! ~教えて議会博士~



花子



太郎



議会博士

花子 「傍聴したときに、ちょっと疑問に思っただけけど……。」

太郎 「なに、なに?」

花子 「あのね、代表質問と一般質問ってどこが違うの?」

太郎 「そういえば、いつもとちょっと違ったよ。」

博士 「和歌山市議会の場合、2月定例会だけ代表質問をしているんだよ。代表質問は会派を代表して行う質問で、一般質問は個人が行う質問なんだ。どちらも、市民の代表である議員が市の仕事をチェックするためにしているんだよ。」

花子 「質問するときのルールはあるの?」

博士 「大きな違いは、代表質問は時間制限があつて、質問は1回だけ。一般質問は、時間制限なしで、質問は3回までできるんだよ。」

太郎 「へえー、2月定例会って、ちょっと違うんだね。」

花子 「インターネット中継もやってるって聞いたから、今度、家でも見てみようよ。」

太郎 「そうだね。」

花子 「博士、ありがとう。また教えてね。」

博士 「はい。いつでも聞いてね。」

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案8件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、平成31年度の主要事業については、次のとおりです。

JR紀三井寺駅のエレベーター設置等の支援721万7千円について。これは、駅のバリアフリー化を推進するため、鉄道事業者が行うエレベーター等のバリアフリー化設備を整備するための詳細設計に対して支援するものです。

バス利便性向上促進補助金3363万円について。これは、和歌山バス及び和歌山バス那賀の交通系ICカードシステム導入を支援し、市民及び観光客等来訪者の移動手段であるバスの利便性向上を図るものです。



バス車載器イメージ

タクシーマナー向上の取組31万1千円について。これは、南海

和歌山市駅、JR和歌山駅におけるタクシー乗り場について、平成32年4月から優良タクシードライバーのみが乗り入れできる制度を構築するものです。

水辺空間の魅力的な夜間景観の創出400万円について。これは、市堀川を中心とした水辺のイルミネーションを行うことで、まちなかの夜間景観を創出し、滞留時間の延長、回遊性の向上を目指すものです。



京橋のイルミネーション

なお、審査過程において、平成31年度組織改正について、デマンド型乗合タクシーに関する取組状況について、平成30年度「和歌山市地域防災計画」主な修正内容について、コンビニでの税証明書交付サービスの開始について、個人住民税の課税誤りについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案39件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、平成31年度の主要事業については、次のとおりです。

こども総合支援センターの充実2001万1千円について。これは、子ども家庭総合支援拠点を設置し、子供を虐待から守る取組などを強化するもので、本町小学校跡地に建設中の(仮称)本町認定こども園等複合施設内へ移転するものです。



(仮称)本町認定こども園等複合施設イメージパース

「我が事・丸ごと」の地域づくり2577万5千円について。これは、住民の身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制を整備し、複雑化した福祉課題に的確に対応するため、各制度ごとの相談支援機関

を総合的にコーディネートし、包括的に受け止める総合的な相談支援体制を構築するものです。

市民対象の手話教室1万1千円について。これは、市役所本庁舎1階ロビーにおいて、市民を対象に基礎的な手話教室を開催し、手話の普及啓発に取り組むものです。



保育所等児童福祉施設のブロック塀等の改修1199万2千円及び支所・連絡所のブロック塀の改修681万5千円について。これらは、児童福祉施設や支所・連絡所のブロック塀等、道路等に面した危険な箇所について改修を行うものです。

地域フロンティアセンターの設置1821万6千円について。これは、NPO・ボランティアサロンを、地域と学生をつなげるプラットフォーム機能を持たせた地域連携拠点として強化・整備し、地域・NPO・学生等の地域貢献に取り組む多様な主体の連携・交流を促進することで、地域の活性化を図るものです。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

QRコードから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案33件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、請願については不採択とすべきものと議決されました。なお、平成31年度の主要事業については、次のとおりです。

体育館への空調設置3億2009万1千円について。これは、中学校の体育館に空調設備を計画的に整備し、生徒と災害時における避難生活者の熱中症対策等を図るものです。

若竹学級の充実1億3577万8千円について。これは、放課後等において、家庭での支援が困難な小学生に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るものです。



新市民図書館の開館2億49

新市民図書館イメージパース

72万2千円について。これは、今年度の開館に向けて、図書館本来の機能に加え、まちの賑わいや交流につながるよう、あらゆる世代の方々が身近に利用できる新市民図書館の整備を行うものです。

クルーズ船に対するおもてなし385万9千円について。これは、和歌山港に入港するクルーズ船に対し、歓迎イベントや地元名産品の販売などのおもてなしや観光案内所を設置することで、市の魅力をPRするとともに、市内誘導により消費拡大につなげるものです。

四季の郷公園のリニューアル5億1177万円について。これは、四季の郷公園のエントランスを、「食を楽しむ」味覚ゾーンとして地域食材レストラン、農産物直売所等の整備を行うものです。

和歌浦漁港内での地元水産物販売促進400万円について。これは、新たにカキ養殖に取り組み、アサリなどの海産物も楽しめるカキ小屋を整備する費用を助成し、観光漁業の振興を図るものです。

つつじが丘テニスコート周辺整備13億2714万1千円について。これは、駐車場拡張と総合公園の整備、今後のテニスコートとの一体的な管理を目指し、駐車場用地として未利用地の取得を行うものです。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案44件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、平成31年度の主要事業については、次のとおりです。

ブロック塀の除却等補助2580万円について。これは、自然災害による公衆災害や交通障害を防ぐため、建築基準法上の道路及び通路等に面した危険なブロック塀等の除却等に係る費用の一部を補助し、危険なブロック塀等の除却等を促進するものです。



道路に面した危険なブロック塀

和歌浦小学校前等の無電柱化の促進4380万円について。こ

れは、和歌の浦歴史まちづくりの一环として、歴史的建造物を結ぶまちなみ景観を修景できるよう、市道と歌浦口雑賀崎線、市道と歌浦59号線の無電柱化及び道路路装飾化を行うものです。

御手洗池公園・沖見の里公園の整備2500万円について。これは、日本遺産に認定された和歌の浦の眺望景観や歴史的建造物保全のため、御手洗池公園及び沖見の里の整備を行い、歴史文化都市としての都市ブランドの構築を図るものです。

地域おこし協力隊による空き家を活用した移住・起業支援303万9千円について。これは、地域おこし協力隊制度を活用し、加太地区で空き家の実態調査を行い、その空き家を活用した起業等をコーディネートする業務を委託するとともに、地域おこし協力隊が業務を進める中で、加太を新たな起業者が集うエリアとし、人のつながりによる活性化を目指すものです。

なお、審査過程において、和歌山市企業局における経営戦略、真砂配水場の稼働、未普及地域給水事業、(仮称)つつじが丘公園等基本設計計画図、市街地再開発事業スケジュールなどについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

永年在職 議員表彰

和歌山市議会2月定例会において、永年在職議員として、次の議員が表彰されました。



うじた せいじ
宇治田 清治 議員



そうがわ あつし
寒川 篤 議員



やまもと こういち
山本 宏一 議員



しばもと かずき
芝本 和己 議員

在職20年

在職15年

中華人民共和国・済南市への公式訪問団の派遣

平成30年11月18日から21日までの間、第35次和歌山市友好訪中団として友好都市である中華人民共和国の済南市を訪問しました。今回は小林副市長が団長を、芝本副議長が副団長を務め、日中友好和歌山市議会議員連盟会長の佐伯議員はじめ、野嶋議員、古川議員、上田議員、永野議員、中谷議員、山野議員が団員となり、14名が訪問しました。

今回の訪問では済南市王京文副市長を表敬訪問し、尾花市長の親書を手渡すとともに活発な意見交換を行いました。また、前回訪問時に提案した和歌山市PRコーナーの除幕式に参加したほか、済南大学との交流では本市から2名の留学生を派遣する予定になりました。さらには、昨年の和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加者約80名の代表者の方々と再会し、スポーツ交流について話し合うなど、両市友好交流関係の深化について積極的な意見交換が行われました。



済南市政サービスセンター内の和歌山市PRコーナー除幕式



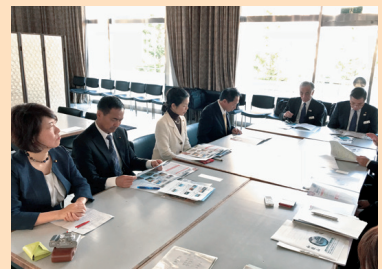
済南大学での学生・留学生との意見交換

議員連盟

活動 レポート

Vol.12

全国大会誘致和歌山市議会議員連盟では、スポーツ・芸術・教育・医療・福祉等の各種大会、会議の和歌山市開催実現に向け、誘致・啓発宣伝活動等を行っています。昨年の11月には、会長の古川議員はじめ、奥山議員、森下議員、堀議員が東京の各種団体、協会を訪問。和歌山市での2019年開催決定につながるなど、具体的な大会誘致実現に向けた成果を上げました。



日本水泳連盟への誘致活動

ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

【委員長】井上 直樹 【副委員長】西風 章世
 【委員】山野 麻衣子 中村 元彦 浜田 真輔
 中谷 謙二 松坂 美知子 奥山 昭博
 山本 忠相 南畑 幸代 ※H31.3.28現在

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL : 432-0022 (議会事務局)
 FAX : 424-9276
 Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

